

改善箇所説明図



大型路線バスの水平置きCNG原動機搭載車において、原動機固定用ブラケットの形状が不適切なため、原動機固定用ラバーが劣化すると、原動機固定用ブラケットとエキゾーストマニホールドが干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該マニホールドの取付けボルトが外れ、当該ボルト穴より原動機オイルがマニホールドに滴下し、最悪の場合、発火に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、原動機固定用ブラケットを対策品に交換すると共に、原動機固定用ラバーを新品に交換する。又、エキゾーストマニホールド及び取付けボルトを点検し、異常のあるものは新品に交換する。

注： 内は交換部品を示す。

識別：原動機固定用ブラケット側面に黄色ペイントを塗布する。